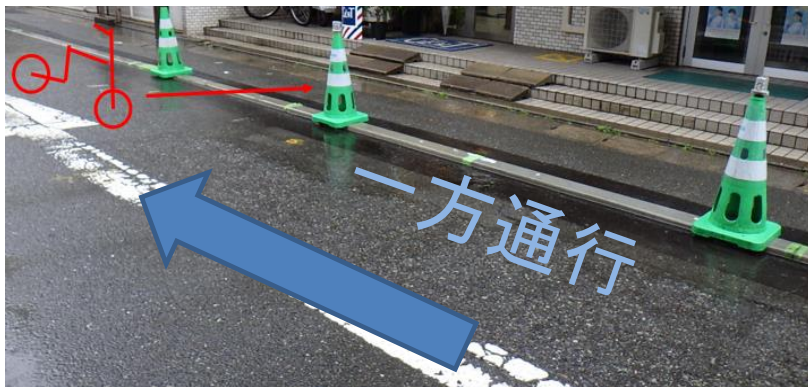


# 公共工事等事故情報

事故分類	死傷公衆災害	発生日時	令和 6年 2月 20日(火曜日) 19時 30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	第三者人身	性別	男性	年齢	42	業種区分	土木
被災程度	腕の骨折			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	不明
工事概要	歩道新設						
事故概要	一方通行の道路において自転車で逆走中の市民(被災者)が歩道新設のために設置された歩車道境界ブロック(高さ15cm、幅15cm)に接触して転倒し受傷、その後救急搬送された案件である。(腕を骨折したとの本人連絡あり)						
事故原因	事故当時、カラーコーンは約5m間隔で設置されていたが、バーは設置されていなかった。また、事故発生箇所の保安灯の一部が点灯していなかった。このため、カラーコーンの間には境界ブロックが無いと誤認しやすい状況にあったと思われる、これらが事故の誘因の一部となった可能性がある。						
改善策	道路工事等の施工中、新設された歩車道境界ブロック等の周辺を開放する際には、カラーコーンバーで囲むなど、できるかぎりの立ち入り防止対策を取る。また、点滅灯などの夜間照明施設については、点検を行い不点灯部分については交換を行い、不具合が無いよう適切に点検を行う。						

## 事故状況図

仮復旧していた縁石ブロックに気づかず自転車  
で接触  
(夜間)



## 改善状況図

・カラーコーンバーを設置  
点滅灯の点検、不点灯部  
分の交換

